

会長：大原浩行 幹事：川上 勉 連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>  
 事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 05.16】  
 クラブ協議会 I  
 会長方針・各委員会  
 クラブ管理運営委員会



次回のプログラム

【移動例会 05.23】  
 クラブ創立28周年  
 夜間例会  
 クラブ管理運営委員会

第 1242 例会報告 (2025.04.25)

点 鐘	大原浩行 会長
国歌斉唱・R ソング	それでごそロータリー
本日のプログラム	ロータリーの原点 横山会員
ゲスト・ビジター	
環境月間	

式訪問です。帯同(白岩氏)  
 ・2025.08.22: 中村 AG による事前訪問です。  
 ・2026.02.21: Intercity Meeting  
 ・2026.05.14: 第 7 分区親善ゴルフ 金の台カントリーC  
 ❖ 苦小牧東 RC の 2025.04 月分週報が送信されてきました。会員数: 現在 30 名です。  
 ❖ 2025.05.18.sun.RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会) の研修会がリー文化学園リーベル小学校で開催されます。対象者はガバナー補佐&クラブ会長エレクト。  
 ❖ メール送信: 「ハイライトよねやま 302 号」が送られてきましたので送信します。  
 ❖ ガバナー月信に掲載するためクラブバナー記事寄稿のお願いが来ています。事務局で対応します。  
 ❖ メール送信: 苦小牧東 RC から週報が届いています。  
 ❖ 2025.05.15: 第 7 分区親睦ゴルフが取手国際ゴルフ倶楽部で開催されます。参加費: 6,000 円です。

会長報告



会長：大原浩行

👉 皆さんこんにちは。信嶋さん復帰おめでとうございます。信嶋さん入会おめでとうございます。私事ではございますが、いまコーヒーダイエットというのをしています。食事の前に1杯のホットコーヒーを飲むだけです。コーヒーには「クロロゲン酸」と言うポリフェノールが入ってまして効果として糖の生成を抑える働きがあります。体内での糖の生成が抑えられると人は活動するのに糖が必要ですので体内の脂肪を糖に変えていきますので蓄積脂肪を燃焼することができます。1日3杯が目安で5杯までが良いそうです。アイスコーヒーは体を冷やしてしまうので体を温めて燃焼効果があるホットコーヒーをお勧めします。またカフェインにも体内の脂肪燃焼効果がありますのでダイエットにはとても効果のある飲み物です。ただコーヒーを飲んで脂肪を燃焼させたとしてもほんの少しです。昨夜も川上幹事と3次会まで頑張ってしまった。その摂取カロリーを考えたらずめの涙ほどの効果です。まずは体への入りを気を付けないと痩せるのは程遠いですね。

幹事報告

幹事：川上勉



❖ 2025.06.07: 土曜日: フリースタイルで 17:30 から分区会長幹事会が開催されます。会費: 5,000 円  
 ・クラブ戦略計画(3 年計画)をお知らせください。  
 ❖ 2025.08.29: がバナー公

■ 出席状況			
会 員	14 名	出席率	100.00%
出席者	8 名		
WEB出席	3 名	Make-up	3 名
定款第10条(第6-7節除く)		鈴木(康)・高梨・堀越会員	

■ ニコニコボックス			
目標額	(本年度)	400,000 円	
実績額	本日/累計	10,000円	336,000円

■ MESSAGE	
大原会長	信嶋さん復帰おめでとうございます。信嶋さん入会おめでとうございます。
川上幹事	信嶋さん復帰おめでとうございます。
海老原会員	今日は何の日: 愛車の日 株式会社ヤナセが制定。日本初の外国車ディーラーのヤナセは1915(大正4)年5月25日に創業した。
信嶋会員	復帰しました。また、宜しくお願ひ致します。
横山会員	信嶋さんの入会を歓迎します。

例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。➤

## 本日のプログラム

### 「ロータリーの原点」

#### 横山会員

🔥 ロータリークラブは、1905年にシカゴでポール・ハリスによって設立されました。ハリスは、異業種の専門家が集まり、友情を育みながら地域社会に貢献することを目的としていました。彼のビジョンは、ビジネスと社会奉仕を結びつけることで、より良い社会を築くことでした。

最初の会合は、ハリスの友人であるシルベスター・シール、グスタフス・ローレ、ハイラム・ショーレの3人とともに行われました。彼らは、毎週異なるメンバーのオフィスで会合を開くことを決め、これが「ロータリー」という名前の由来となりました。ロータリークラブは、友情、倫理、奉仕の精神を基盤にしており、これらの価値観は今日でもクラブの活動の中心となっています。

ロータリークラブの活動は、地域社会への奉仕だけでなく、国際的な支援にも広がっています。例えば、ポリオ撲滅運動はロータリークラブの代表的なプロジェクトの一つであり、世界中でポリオの根絶に向けた努力が続けられています。また、教育支援や水資源の確保、健康増進など、多岐にわたるプロジェクトが展開されています。

1923年に採択された決議23-34は、ロータリークラブの奉仕活動に対する方針を明確に示す重要なドキュメントです。この決議は、ロータリーの哲学を定義し、ロータリアンが奉仕の理念を実践するための指針を提供しています。12. 決議23-34は、「超我の奉仕」(Service Above Self)の哲学に基づいており、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則を強調しています。2。

決議23-34の第1条では、ロータリーの奉仕理念が説かれています。ロータリーは、利己的な欲求と義務、そして他人のために奉仕したいという感情との間に存在する矛盾を和らげる人生哲学であるとされています。2。第2条では、ロータリークラブの役割について、奉仕の理論を団体で学び、実践例を示し、個人として実践し、一般の人々に受け入れてもらうことが述べられています。2。

ロータリークラブのメンバーは、異業種の専門家で構成されており、各メンバーが持つ専門知識や経験を活かして、地域社会や国際社会に貢献しています。クラブの活動は、メンバー間の友情を深めるだけでなく、社会に対する責任感を育む場ともなっています。

ロータリークラブの原点は、友情と奉仕の精神にあります。ポール・ハリスのビジョンは、今日でも多くのロータリアンによって受け継がれ、世界中でその影響力を広げています。決議23-34は、ロータリークラブの活動を支える重要な指針であり、ロータリアンが奉仕の理念を実践するための道標となっています。ロータリークラブは、地域社会や国際社会に対する奉仕を通じて、より良い未来を築くための重要な役割を果たしています。

## クラブ会長方針と計画

### 「UNITE FOR GOOD」

2025-26年度クラブ会長 大原 浩行

■前年度に引き続き会長を仰せつかりました。前期は復帰2年目でしたのでロータリークラブの運営というものがよく理解しておらず川上幹事や横山事務局におんぶに抱っこ1年でした。今期は2年目ですので多少なりとも自分の色を出して行きたいと思っております。PETS や地区研修協議会において瀬戸隆海ガバナーより何点かの明確な目標が示されました。まず会員増強が最重要課題ではないかと思われま。また、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長のメッセージは「よいことのために手を取りあおう」でカマルゴ会長も「ロータリーの財産は会員です」と述べられています。昨年度当クラブは6人の会員増強に成功しました。会員を増やすためのノウハウは一通り手に入れました。今期も2名の目標を立てクラブが一丸となって取り組んでいく所存です。しかしただ増やすだけでは何の意味もありません。新会員となられた方々がロータリー活動を心から楽しんでいただきその上にロータリーを理解してもらうことが重要です。炉辺会議等を織り交ぜた親睦活動を中心とした仲間作りやロータリーに関する会員卓話の実施、姉妹、友好クラブとの共同事業を通して会員全体が分かり合えるクラブへと進めていこうと考えています。入会した会員が退会をせず会員を増やし続けるロータリークラブにして行きましよう。

#### ◇クラブ運営管理

「四つのテスト」の全会員への周知と実践、クラブ優秀賞獲得への取組み。

#### ◇会員増強 2名

#### ◇社会奉仕

市社会奉仕協議会やボランティア協議会との連携を強化し様々な活動に参加していく。

#### ◇ロータリー財団

年次寄付 150ドル? /人 ポリオ・プラス 30ドル /ベネファクタークラブ1人

#### ◇米山奨学生(一人当たり)

普通寄付 5千円(年会費から支出)

特別寄付 2万円の会員協力をお願いする。

#### ◇奉仕プロジェクト

新しく出来た市多世代交流センターで開催する障がいのある方のアート作品展「みんなで作るパラアート展」の実施をする。作品を展示することにより彼らの生きがいやリハビリなどの向上に貢献し、ひいては地域住民に対して障がいのある方の芸術的創作活動の意義や重要性を認識していただき DEI の取組へとつなげて行きたい。



よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージ